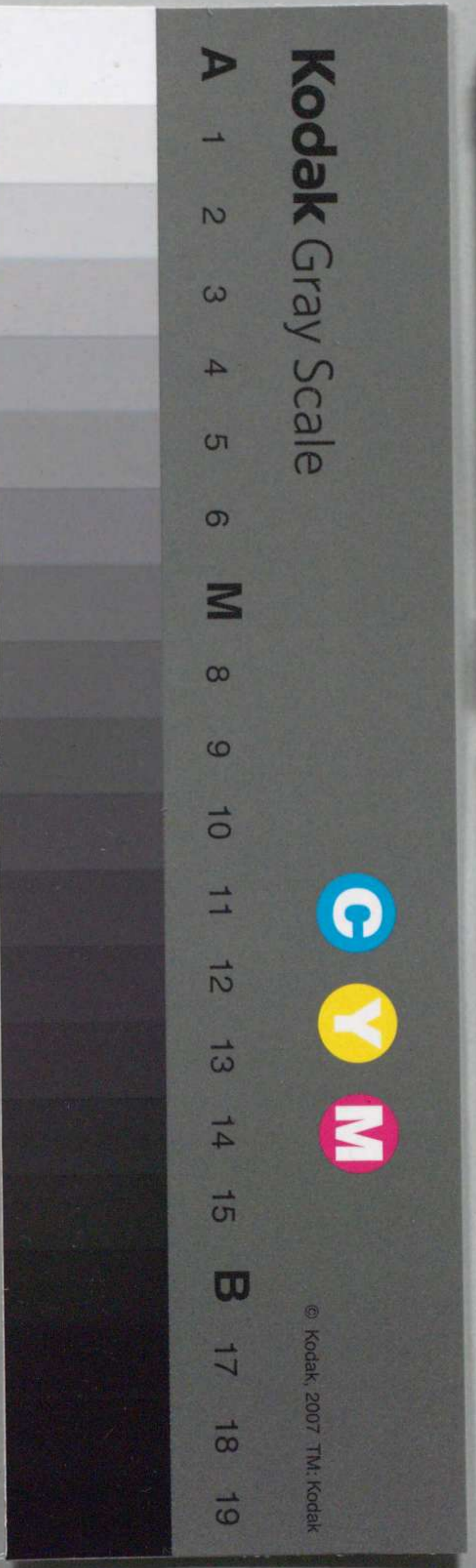
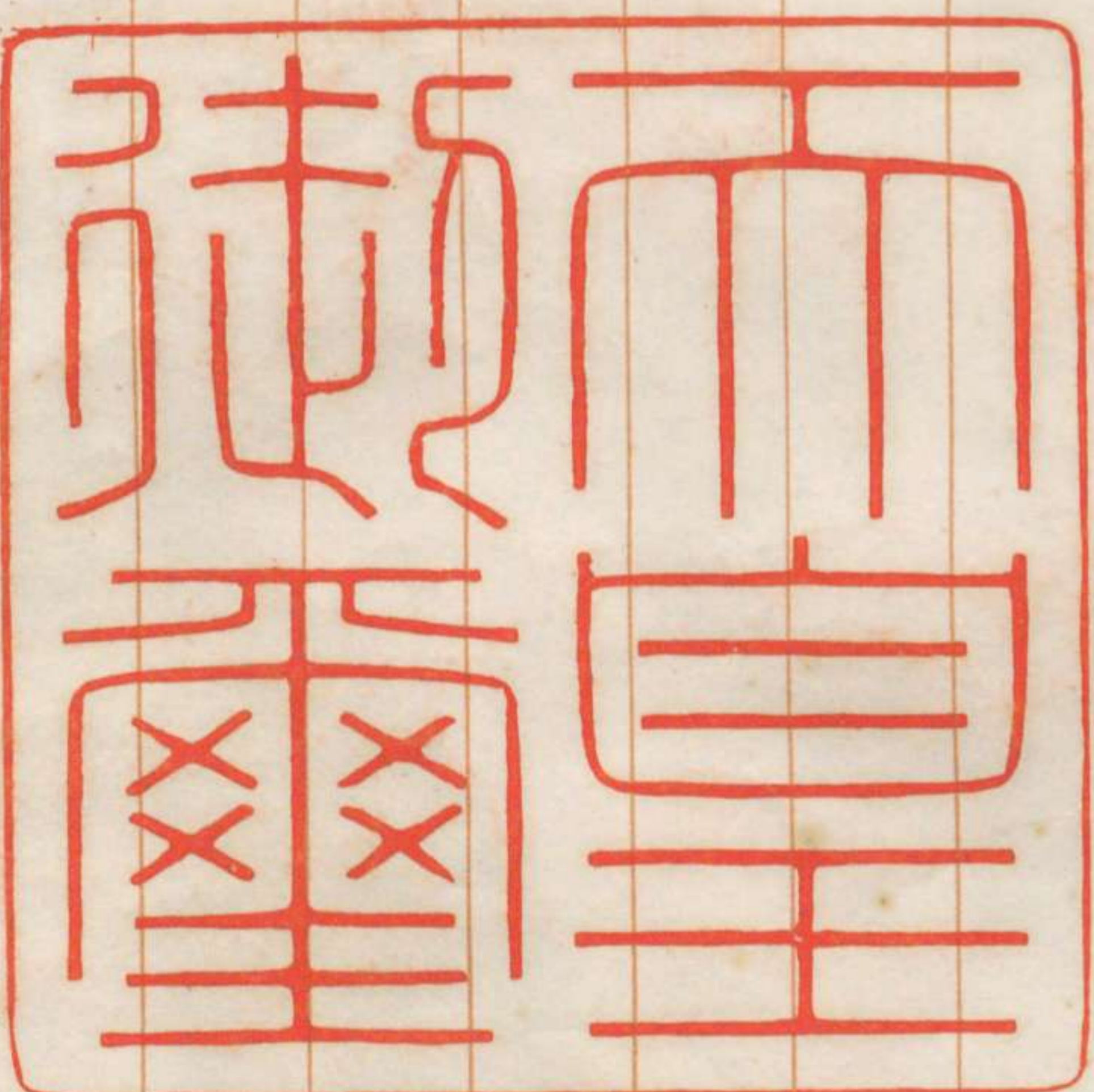


勅  
令  
無  
異

朕明治二十一年十月三十日北米合衆國華盛頓府ニ於テ  
朕カ全權委員ト墨西哥合衆國全權委員ノ記名調印シタ  
ル修好通商條約ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十二年七月十七日

内閣總理大臣伯爵黑田清隆  
外務大臣伯爵大隈重信

日本皇帝陛下及墨西哥合衆國大統領ハ  
兩國間并ニ其臣民及人民間ノ修好通商  
ニ關シ永久堅固ノ基礎ヲ定メシコトヲ  
欲シ修好通商條約ヲ締結スルコトニ決  
シ日本皇帝陛下ハ亞米利加合衆國華盛  
頓府ニ駐劄スル日本皇帝陛下ノ特命全權  
公使從四位勲三等陸奥宗光ヲ其全權委  
員ニ命シ墨西哥合衆國大統領ハ亞米利  
加合衆國華盛頓府ニ駐劄スル墨西哥合

衆國ノ特命全權公使マチアス、ロメロヲ其  
全權委員ニ命シタリ因テ雙方ノ全權委  
員ハ互ニ其委任状ヲ示シ其正實適當ナ  
ルヲ確認シ左ノ條々ヲ合議決定セリ  
第一條 日本帝國ト墨西哥合衆國トノ  
間并ニ兩國臣民及人民ノ間ニ永遠無  
窮ノ平和親睦アルヘシ

第二條 日本皇帝陛下ハ其便宜ニ從ヒ  
其外交官ヲ墨西哥合衆國ニ駐劄セシ  
ムルコトヲ得墨西哥合衆國政府モ亦

其便宜ニ從ヒ其外交官ヲ日本國ニ駐  
劄セシムルコトヲ得又兩締約國ハ各  
々通商上便宜ノ為メ他ノ一方ノ領地  
ニ於テ最惠國領事官ノ駐在シ得ヘキ  
各港各所ニ總領事、領事、副領事及領事  
代理ヲ駐在セシムルノ權ヲ有スヘシ  
然レトモ右總領事、領事、副領事及領事  
代理ハ其職務ヲ行フニ先チ定式ニ從  
ヒ其赴任國政府ノ認可ヲ經ヘキモノ  
トス而シテ兩締約國ノ一方ノ外交官

及領事官ハ本條約ノ各條欵ニ牴觸セ  
サル外他ノ一方ノ領地内ニ於テ最惠  
國ノ同格ノ外交官及領事官ニ現ニ許  
與シ若クハ將來許與スヘキ一切ノ權  
利特權及免除ヲ享有スヘシ

第三條 兩締約國ノ領地及其所屬地ノ  
間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アル  
ヘシ兩締約國ノ一方ノ臣民若クハ人  
民ハ他ノ一方ノ領地及所屬地ニシテ  
最惠國ノ臣民若クハ人民ノ到リ得ヘ

キ各所各港ヘハ其船舶貨物ヲ以テ自  
由安全ニ到ルコトヲ得且ツ最惠國ノ  
臣民若クハ人民ノ滞在住居シ得ヘキ  
各所各港ニ滞在住居スルコトヲ得又  
右臣民若クハ人民ハ其住居地ニ在テ  
家屋倉庫ヲ借受ケ總テ正業ニ屬スル  
天產物製造品及其他商品ノ卸賣若ク  
ハ小賣營業ニ従事スルコトヲ得

第四條 日本皇帝陛下ハ本條約前條ニ  
依リ日本國ニ渡来スル墨西哥國人民

ニ附與シタル特權ノ外茲ニ此條約ニ  
記載セル數箇ノ條欵ニ對シ別ニ同國  
人民ニ許與スルニ皇帝陛下ノ領地内  
及其所屬地各所ニ入來シ又ハ滞在住  
居シ同所ニ於テ家屋倉庫ヲ借受ケ又  
ハ總テ正業ニ屬スル天產物製造品及  
各種商品ノ卸賣若クハ小賣營業及其  
他一切合法ノ職業ニ従事スルノ特權  
ヲ以テス

第五條 兩締約國ハ其一方ノ領地ニ於

テ通商航海旅行及住居ノ事ニ關シ他  
ノ外國ノ臣民若クハ人民ニ現ニ許與  
シ若クハ將來許與スヘキ一切ノ殊遇  
特權及免除ハ他ノ一方ノ臣民若クハ  
人民ニモ之ヲ許與シ而シテ右殊遇特  
權及免除ハ報酬ヲ要セスシテ他ノ外  
國ノ臣民若クハ人民ニ許與シタルモ  
ノニ係レハ又均シク報酬ヲ要セスシ  
テ之ヲ許與シ若シ別段ノ約束ニ依テ  
許與シタル者ニ係レハ則チ同一ノ約

東又ハ之ト同一ノ價值ヲ有スル報酬  
 二對シテ之ヲ許與スヘキコトヲ約ス  
 第六條噸税燈税港税水先案内費難破救  
 助費及其他ノ諸税ニ就キテハ日本各  
 港ニ於ケル墨西哥合衆國ノ船舶又墨  
 西哥合衆國各港ニ於ケル日本國ノ船  
 船ニ對シ最惠國ノ船舶ニ現ニ賦課シ  
 又ハ將來賦課スヘキ諸税ニ異ナルカ  
 又ハ之ヨリ多額ノ税金ヲ賦課スルコ  
 トナカルヘシ

第七條 墨  
 品ヲ日本國  
 產物及製造  
 スルトキハ他ノ  
 造ニ係ル同種類  
 課シ若クハ將來  
 異ナルカ又ハ之  
 スルコトナカルヘ  
 方ノ領地若クハ所屬地ヨリ他ノ一方  
 ノ領地若クハ所屬地ヘ向ケ輸出スル  
 又ハ日本國ノ天  
 西哥合衆國ニ輸入  
 國ノ產出若クハ製  
 物品ニ對シ現ニ賦  
 課スヘキ輸入税ニ  
 多額ノ税ヲ賦課  
 又兩締約國ノ一



束又ハ之ト同一ノ價值ヲ有スル報酬  
ニ對シテ之ヲ許與スヘキコトヲ約ス

第六條噸税燈税港税水先案内費難破救  
助費及其他ノ諸税ニ就キテハ日本各  
港ニ於ケル墨西哥合衆國ノ船舶又墨  
西哥合衆國各港  
於ケル日本國ノ船  
船ニ對シ最惠國ノ船舶ニ現ニ賦課シ  
又ハ將來賦課スヘキ諸税ニ異ナルカ  
又ハ之ヨリ  
税金ヲ賦課スルコ  
トナカル



第七條 墨西哥合衆國ノ天産物及製造

品ヲ日本國ニ輸入シ又ハ日本國ノ天  
産物及製造品ヲ墨西哥合衆國ニ輸入  
スルトキハ他ノ外國ノ産出若クハ製  
造ニ係ル同種類ノ物品ニ對シ現ニ賦  
課シ若クハ將來賦課スヘキ輸入税ニ  
異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ税ヲ賦課  
スルコトナカルヘシ又兩締約國ノ一  
方ノ領地若クハ所屬地ヨリ他ノ一方  
ノ領地若クハ所屬地ヘ向ケ輸出スル



物品ニ就テハ他ノ外國ヘ向ケ輸出スル同種類  
ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若クハ将来賦課ス  
ヘキ諸税金ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ  
税ヲ賦課スルコトナルヘシ又兩締約國ノ  
一方ノ領地ノ天産物若クハ製造品ヲ他ノ一  
方ノ領地若クハ所屬地ニ輸入スルヲ禁スルハ  
他ノ外國ノ産出若クハ製造ニ係ル同  
種類ノ物品ノ輸入ヲ禁スル場合ニ限  
ルヘシ又兩締約國ノ一方ノ領地ヨ  
リ他ノ一方ノ領地若クハ所屬地ヘ向

ケ物品ヲ輸出スルヲ禁スルハ他ノ外  
國ノ領地ヘ向ケ同種類ノ物品ノ輸出  
ヲ禁スル場合ニ限ルヘシ

第八條 日本國又ハ其領海ニ来ル墨西  
哥合衆國ノ人民及ヒ船舶ハ日本國又  
ハ其領海ニ在ル間ハ墨西哥合衆國及  
其領海ニ到ル日本皇帝陛下ノ臣民及  
船舶カ墨西哥國ノ法律及其裁判管轄  
ニ服従スルト同様日本國ノ法律ヲ遵  
奉シ且ツ其裁判管轄ニ服従スヘキモ

ノトス

第九條 本條約ハ其批准書交換後直ニ  
實行スヘシ而シテ兩締約國ノ一方ヨ  
リ本條約ヲ廢棄スルノ意ヲ他ノ一方  
ヘ通知シタル日ヨリ六箇月間其効力  
ヲ有シ此期限ヲ經過シタル上ハ直ニ  
其効力ヲ失フヘシ

第十條 本條約ハ日本文、西班牙文及英  
文ノ三國文ニ記スヘシ若シ日本文ト  
西班牙文トノ間ニ文意相異ナルトキ

ハ英文ニ從リ之ヲ斷定スヘキコトヲ  
雙方政府約束ス

第十一條 本條約ハ可成丈ヶ早キ時期  
ニ兩締約國ニ於テ互ニ批准シ亞米利  
加合衆國華盛頓府ニ於テ其批准書ヲ  
交換スヘシ

右證據トシテ雙方ノ全權委員本條約六  
通ニ記名調印スルモノ也

日本明治二十一年十一月三十日

西曆千八百八十八年十一月三十日

華盛頓府ニ於テ

陸奥宗光印

エム、ロメ口印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝作ヲ踐ミタ  
ル日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス  
帝國ト墨西哥合衆國トノ交際ヲ永久親  
睦ナラシメニコトヲ欲シ明治二十一年  
十一月三十日北米合衆國華盛頓府ニ於  
テ兩國全權委員ノ記名調印シタル修好  
通商條約文ノ各條目ヲ朕親シク閱覽點  
檢シタルニ善ク朕カ意ニ適シ間然スル  
所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百四十九年明  
治二十二年一月二十九日東京宮城ニ於  
テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣伯大隈重信印